



新富士ロータリークラブ会報

Be a gift to the world
— 世界へのプレゼントになろう —

R I 会長 K.R.ラビンドラン
第2620地区ガバナー 野口 英一
新富士 R. C. 会長 長原 幹
幹事 小山 哲

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎週火曜日
12:30~13:30



第1217回例会 (2016. 2. 23)



司会 篠原 一恵副会場監督
ソング 「我等の生業」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和
R I テーマ唱和

会長挨拶

先日の日曜日に、ニューウェルサンピア沼津にて開催されました第3分区 I M への出席、ご苦労さんでした。記念講演での蓮池薫さんの公演を、皆さんはどのように感じましたか。

さて、本日2月23日は何の日かご存知ですか？

それは、「富士山の日」です。静岡県では、川勝知事が富士山の世界文化遺産登録に力を入れたときに、2月23日を語呂合わせで「富士山の日」と決定し、昨年は学校を休日にするように進めましたが、足並みがそろわなかったようです。今年はどうのようになっていくか不明です。川勝知事は抜け目なく国民の祝日を先取りしたかもしれません。今の皇太子徳仁親王が1960年2月23日16時15分に誕生されましたので、数十年後には祝日になる可能性が高いことを示しています。

そして、ロータリーでは、最初の例会が1905年2月23日(木)の夜、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ロアの4人がシカゴのロアの事務所に集まりロータリー設立の例会を開き、初代会長にはシルベスター・シールがなり、数回の例会で「ロータリー」というクラブの名称となりました。その理由として、その時は会員の事務所・仕事を廻りながら例会を開いていたためこの名前が選ばれたことは、ロータリアンの皆さんは周知の事実と思っています。

さて、本日の卓話は吉原西部包括支援センターのセ

ンター長 戸巻俊裕様です。福祉について、貴重なお話を聴けることと思います。よろしくお願いします。

ゲスト

吉原西部地域包括支援センター 戸巻 俊裕様



会長挨拶
長原 幹会長



ゲスト
戸巻俊裕センター長

幹事報告

- ①例会臨時変更のお知らせ
 - ・富士宮西 R C 3/18(金)→16(水) 市内企業見学 (テルモ愛鷹工場)
 - ・静岡南 R C 3/15(火) 休会
MUの受付は11:30~12:30、ブケトーカイ 4 F フロアにて
- ②ガバナー事務所より、2015-2016年度 地区研修・協議会の案内 受信回覧
開催日：2016年4月10日(日)
会 場：静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)
ホストクラブ：清水中央ロータリークラブ
- ③富士市国際交流協会 平成27年度 第3回理事会開催の案内 受信回覧
日 時：平成28年3月15日(火) 13時15分～
会 場：富士商工会議所 3階会議室
- ④週報受信回覧 富士 R C 富士宮 R C 富士宮西 R C 沼津西 R C

プログラム予定

3月8日(火) 音楽会 (オカリナ演奏)

出席報告

第1216回

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1216回	30	30	0		暫定100.00%
第1214回	30	24	6		確定80.00%

《他クラブへの出席者氏名》

(富士宮西) 本多 脩身君
(5RC) 鈴木 一也君

--*-*-*-*-*-*-*-*



第1217回

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1217回	30	18	12		暫定60.00%
第1215回	30	24	6		確定80.00%

《本日の欠席者》

斉藤 寛明君 長谷川 勝君 堀井 健治君
井上 晴雄君 川口 平吾君 久保田元久君
佐野 昌宏君 鈴木 清久君 鈴木 俊雄君
高橋 孝行君 和田 三郎君 渡邊 哲男君

《他クラブへの出席者氏名》

(5RC) 川村 武君 仲澤 千尋君
鈴木 俊雄君

私のスマイル

- 小山 哲君 IMは蓮池さんの生のお話を聞くことができありがたかったです。
- 本多 脩身君 坂口君、駅伝参加ご苦労様。白糸までの上り大変だね。若いっていいな。
- 小串 民義君 IMご苦労様でした。
- 川村 武君 休みが続きました。徐々に春の陽気になってきますね。
- 赤渕 浩雄君 庭の「河津桜」が満開になりました。少し早すぎる様です。
- 篠原 一恵君 IM、急な欠席で申し訳ありませんでした。
- 長原 幹君 吉原西部包括支援センター長の戸巻俊裕様の卓話をよろしくお願ひします。
- 木村 憲司君 2月21日IMの大会を楽しんできました。



▲出席委員会報告
坂口勝一委員



▲私のスマイル
木村憲司親睦委員

卓話

地域包括支援センターの説明

吉原西部地域包括支援センター
戸巻 俊裕氏

①地域包括支援センターの説明

- ・介護予防ケアマネジメント業務
(要支援1, 2の方に対してプラン作成、給付管理等を行う)
- ・総合相談業務
(地域の高齢者に対して、様々な相談に対応する業務を行う)
- ・権利擁護業務
(成年後見制度や虐待の早期発見、防止、消費者被害等の対応を行う)
- ・包括的継続的ケアマネジメント業務
(地域の様々な機関とネットワークを作り、地域のケアマネジャーの支援を行う)
- ・その他の業務
(A: 介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業。 B: 在宅医療・介護連携推進事業。 C: 認知症対策推進事業。 D: 生活支援体制整備事業)
(認知症サポーター養成講座・介護予防教室)



②国の動向

- ・地域包括ケアシステムについて
(地域の住民主体のボランティアや居場所づくりが必要)

③地域包括ケアシステムの捉え方

- ・地域包括ケアシステムの5つの構成要素(住まい・医療・介護・予防・生活支援)をより詳しく、またこれらの要素が互いに連携しながら有機的な関係を担っていることを図示したものです。
- ・地域における生活の基盤となる「住まい」「生活支援」をそれぞれ、植木鉢、土と捉え、専門的なサービスである「医療」「介護」「予防」を植物と捉えています。
- ・植木鉢・土のないところに植物を植えても育たないのと同様に、地域包括ケアシステムでは、高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供され、その住まいにおいて安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」があることが基本的な要素となります。そのような養分を含んだ土があればこそ初めて、専門職による「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」が効果的な役目を果たすものと考えられます。